



学校だより

中山小

横浜市立中山小学校

令和 8年 4月27日 発行

5月号

学校教育目標：豊かなかかわりの中で「生きる力」を身につけます



みんな仲良くしないとダメですか？ ～「かかわり」を学ぶ大切さ～

校長 高橋 亨

新緑がまぶしい季節となりました。新年度が始まって一か月、子どもたちのかかわりも、少しずつ広がりを見せています。

私は以前、ある子どもから「どうして先生は『みんな仲良く』って言うの？ 私はいつも好きな子と活動したいよ。」と言われました。その率直な言葉に、私自身、はっとさせられました。確かに人は、もともと好き嫌いで物事を考えてしまうものです。ただ、そのことで、意識しないうちに相手を遠ざけたり、区別してしまったり、時には友達を傷つけてしまったりすることもあります。

だからこそ私は、「人は自然に好きな人を選んでしまう。その中でどう考え、どう行動すればクラスの友達を大切にできるのか？」と、子どもたちに問うようになりました。

学校では「みんな仲良く」とよく言われます。それは、誰とでも同じように過ごすことを求めているのではなく、自分の感じ方に気付き、自分と違う友達の立場に立って考えようとする事の大切さを伝えたいからです。違いがあるからこそ、かかわりの中で学び合い、よりよい関係を築いていくことができます。好きなもの同士でない「クラス」という小さな社会の中で、それを体験しながら学ぶのが、学校だと思います。

本校では、たてわり活動など、異なる学年とのかかわりも大切にしています。上級生が下級生に声をかけたり、遊びを教えたりする姿、また下級生が安心して頼る姿が活動の中で見られます。同じ年の友達だといがみ合ってしまうことでも上の学年の子には素直に従えたり、下の学年の子には優しくできたりといったこともあると思います。こうした経験の積み重ねが思いやりの心を育み、「心優しい中小の子」へとつながっていくのだと考えています。

これからも「豊かなかかわり」を大切にしながら、一人ひとりが安心して過ごし、互いを認め合える学校づくりに努めてまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学年開きの集会

進級をした2年生から6年生は、4月の初めに学年開きの集会を行いました。新たな学年への意気込みが、話を聞く態度に表れています。1年間の見通しをもった後は、それぞれ楽しいレクをして、安心して学び合えるかかわりづくりをしました。



1年生となかよしの会

4月22日に「1年生となかよしの会」を実施しました。まずは、学年ごとに、メッセージを送ります。○×クイズや校歌の出し物も1年生を迎え入れる優しい気持ちが込められていました。最後に1年生からお礼を伝えると、体育館は温かい拍手に包まれ、上級生一人一人の歓迎の気持ちが体育館いっぱいに満ちていました。

